



なかしん

中小企業景況レポート

No.9 中栄信用金庫 地域支援部

平成25年10月～12月実績と平成26年1月～3月見込み

◆調査概要

調査時期 平成25年12月上旬
調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、開成町
調査企業数 308社
回答企業数 301社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	86	83	96.5
卸売業	21	21	100.0
小売・飲食業	62	59	95.1
サービス業	43	42	97.6
建設業	53	53	100.0
不動産業	43	43	100.0
合 計	308	301	97.7

◆10月～12月期の概況

～業況改善も、仕入価格の上昇を懸念～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断 D.I. は▲1.4 を示し、前回調査（平成25年7月～9月期）に比べ17.0ポイントの改善となりました。安倍政権発足から1年が経過し、政府・日銀の政策を背景に、製造業や建設業を中心として受注が徐々に回復したことに加え、消費増税前の駆け込み需要や季節需要等による売上・収益 D.I. の改善が、業況改善に寄与したものと想われます。更に今回の特別調査では、平成26年の自社の業況について、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合が約2割と、平成24年12月期に行った同調査の回答割合に比べ1割の増加に至ったことから、景気回復の実感が徐々に及びつつあることも窺えます。また一部では、原材料価格の上昇分を価格に転嫁する動きがみられるものの、総体的には、同業者間の価格競争や消費者の低価格志向などから、人件費や光熱費、原材料価格の上昇分の転嫁が十分に進まず、増税後の落ち込みへの懸念もあることから、業況はマイナス域に止まっております。

項目別にみると、売上実績 D.I. は前回調査比15.7ポイント改善の10.3、収益実績 D.I. は前回調査比13.6ポイント改善の2.3となっております。また、仕入価格 D.I. はほぼ横這いの34.1と高止まりが長期化し、資金繰りはほぼ横這いの▲17.7、人手不足については、11.5ポイント不足感が強まり▲24.9となっております。

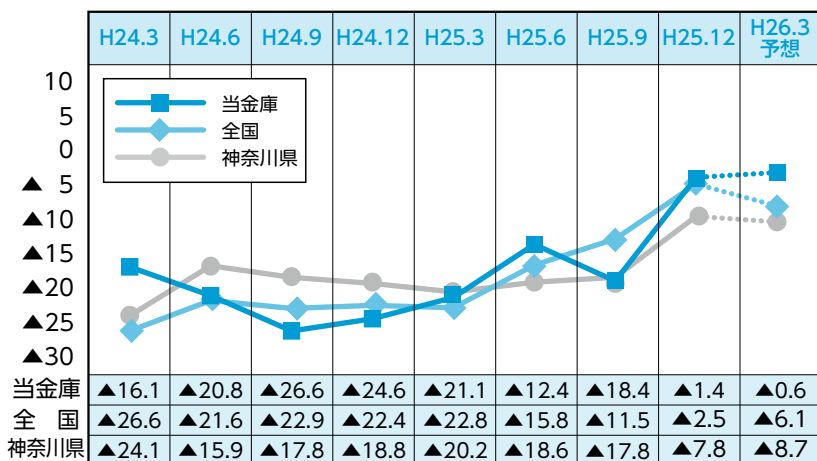
また、業種別の景況感は、業種間でばらつきがみられ、製造業が34.6ポイント改善し9.6、建設業が30.4ポイント改善し24.5、サービス業が24.5ポイント改善し▲2.4、小売・飲食業が1.7ポイント悪化し▲30.5、不動産業が4.6ポイント悪化し▲4.6、卸売業が4.8ポイント悪化し▲19.1となっております。（業種別の詳細については、次頁以降を参照ください。）

なお、全国の中小企業の業況判断 D.I. は、前回調査から9.0ポイント改善の▲2.5、神奈川県内は、10.0ポイント改善の▲7.8となっております。（全国と神奈川県の D.I. 値については、信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。）

◆1月～3月期の見通し

来期の業況判断予想は0.8ポイント改善の▲0.6、売上額 D.I. は10.6ポイント悪化の▲0.3、収益 D.I. は9.0ポイント悪化の▲6.7の予想となり、業種別では、卸売業、不動産業、小売・飲食業は改善の見込み、製造業、建設業、サービス業は悪化の見込みとなっております。

業況判断 D.I. 値（全業種）



全国、神奈川県の業況判断 D.I. 値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約16,000（うち神奈川県約480）の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I. 値とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

業種別景気天気図

	前 期	今 期	予 想
総 合			
製 造 業			
卸 売 業			
小売・飲食業			
サービス業			
建 設 業			
不 動 産 業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 ← → 低調
良い ← → 悪い

製造業

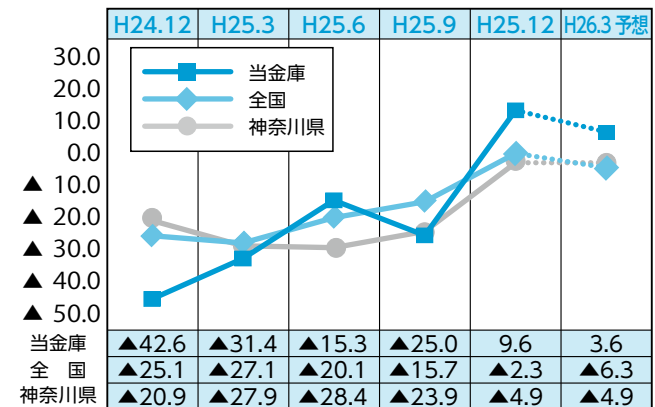
概況

製造業の業況判断D.I.は前回調査比34.6ポイント改善の9.6と2年ぶりにプラス域となりました。項目別では、売上額D.I.は33.7ポイント改善の26.5、収益D.I.は28.6ポイント改善の12.0、資金繰りは7.0ポイント改善の▲12.0となっております。これは、夏場の受注の落ち込みによる反動増や円安効果に伴う輸出関連企業の回復により、既存先からの受注が徐々に回復したという声も多く見受けられ、一部の企業では、将来を見据えた成長戦略の一環として医療や環境等の先進分野への進出の動きもあることから、業況改善に至ったものと思われます。また約3割の企業が、作業効率の向上や設備の老朽化に伴い、設備投資を実施しており、投資需要が顕在化したことも窺えます。

なお、全国は13.4ポイント改善の▲2.3となっており、神奈川県は19.0ポイント改善の▲4.9となっております。

来期の予想業況判断は6.0ポイント悪化の3.6と予想されております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	26.1	40.6	33.3	D.I. ▲7.2
当期実績	44.5	37.5	18.0	26.5
来期予想	22.8	56.8	20.4	2.4
前年同期比	37.3	30.2	32.5	4.8

販売価格

前期実績	3.5	83.5	13.0	D.I. ▲9.5
当期実績	4.8	86.8	8.4	▲3.6
来期予想	8.4	88.0	3.6	4.8

在庫

前期実績	3.5	88.2	8.3	D.I. ▲4.8
当期実績	6.0	85.5	8.5	▲2.5
来期予想	6.0	88.0	6.0	0.0

人手

前期実績	13.0	78.7	8.3	D.I. 4.7
当期実績	9.6	65.1	25.3	▲15.7
来期予想	10.8	70.0	19.2	▲8.4

収益

前期実績	21.4	40.6	38.0	D.I. ▲16.6
当期実績	38.5	35.0	26.5	12.0
来期予想	16.8	62.8	20.4	▲3.6
前年同期比	33.7	32.6	33.7	0.0

原材料価格

前期実績	40.4	58.5	1.1	D.I. 39.3
当期実績	34.1	65.9		34.1
来期予想	26.8	73.2		26.8

資金繰り

前期実績	10.7	59.6	29.7	D.I. ▲19.0
当期実績	12.0	64.0	24.0	▲12.0
来期予想	12.0	68.8	19.2	▲7.2

設備状況

前期実績	4.8	83.1	12.1	D.I. ▲7.3
当期実績	8.6	80.3	11.1	▲2.5
来期予想	10.0	75.0	15.0	▲5.0

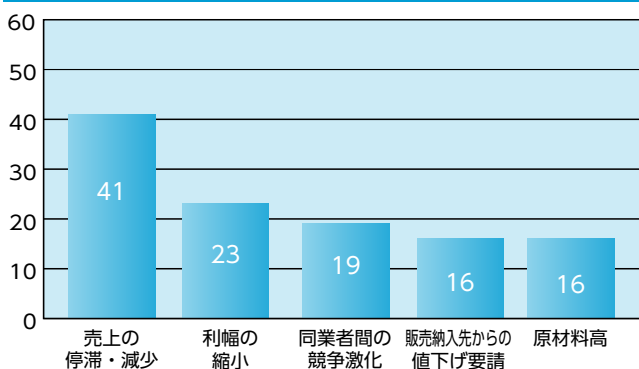
当期実績…25年10～12月期
来期予想…26年 1～3月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

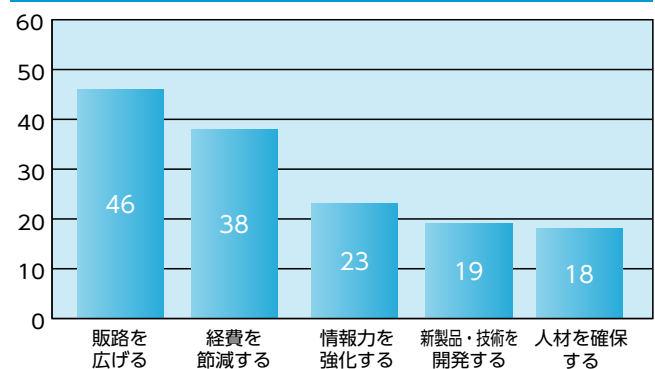
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



卸売業

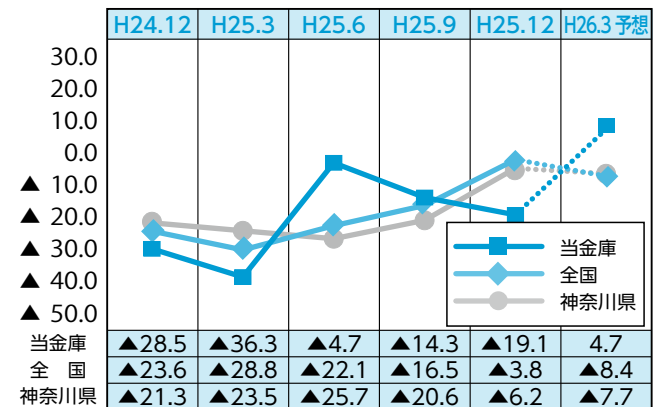
概況

卸売業の業況判断 D.I. は前回調査比 4.8 ポイント悪化の▲19.1 と 2 期連続の悪化となりました。項目別では、売上額 D.I. は前期に比べ 9.6 ポイント悪化の▲4.8、収益 D.I. は 9.5 ポイント悪化の▲14.3 となり、一部企業においては、仕入価格の上昇分を販売価格へ転嫁する動きがみられ、販売価格 D.I. は 4.7 ポイント上昇の 9.5 となっております。また、今回の調査では、下記の経営上の問題点として、前回調査時には挙げられていなかった人手不足を懸念する声が、建設業向けや製造業向けの企業を中心に多く見受けられます。

なお、全国は 12.7 ポイント改善の▲3.8 となっており、神奈川県は 14.4 ポイント改善の▲6.2 となっております。

来期の予想業況判断は 23.8 ポイント改善の 4.7 と 3 期ぶりの改善が予想されております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	23.8	57.2	19.0	D.I. 4.8
当期実績	28.5	38.2	33.3	▲4.8
来期予想	28.5	62.0	9.5	19.0
前年同期比	38.0	38.2	23.8	14.2

販売価格

前期実績	9.5	85.8	4.7	D.I. 4.8
当期実績	19.0	71.5	9.5	9.5
来期予想	23.8	66.7	9.5	14.3

在庫

前期実績	14.2	85.8		D.I. 14.2
当期実績	14.2	76.3	9.5	4.7
来期予想	14.2	76.3	9.5	4.7

人手

前期実績	14.2	66.8	19.0	D.I. ▲4.8
当期実績	9.5	71.5	19.0	▲9.5
来期予想	9.5	66.7	23.8	▲14.3

収益

前期実績	19.0	57.2	23.8	D.I. ▲4.8
当期実績	19.0	47.7	33.3	▲14.3
来期予想	23.8	66.7	9.5	14.3
前年同期比	23.8	52.4	23.8	0.0

仕入価格

前期実績	38.0	57.3	4.7	D.I. 33.3
当期実績	33.3	62.0	4.7	28.6
来期予想	28.5	66.8	4.7	23.8

資金繰り

前期実績	66.7	33.3		D.I. ▲33.3
当期実績	9.5	52.5	38.0	▲28.5
来期予想	4.7	66.8	28.5	▲23.8

設備状況

前期実績	94.8	5.2		D.I. ▲5.2
当期実績	4.7	85.8	9.5	▲4.8
来期予想	5.2	84.3	10.5	▲5.3

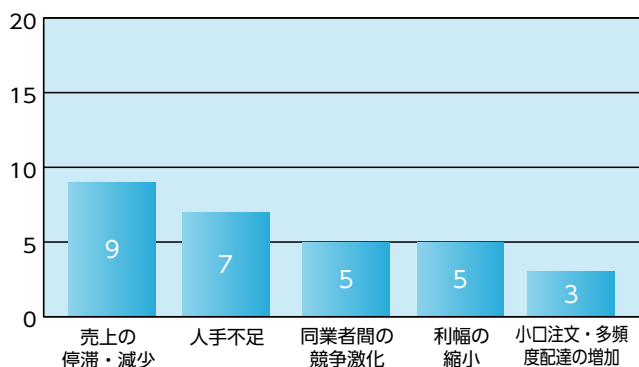
当期実績…25年10～12月期
来期予想…26年 1～3月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

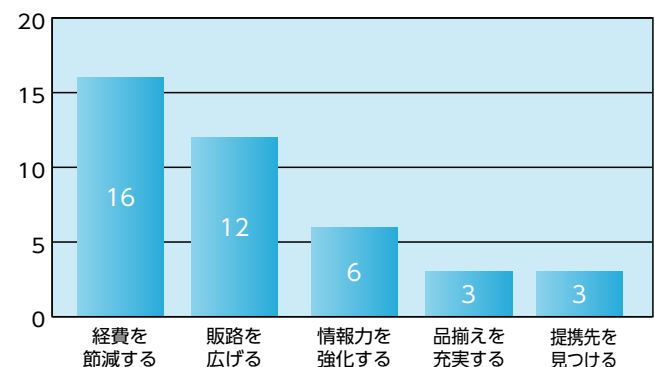
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



小売・飲食業

概況

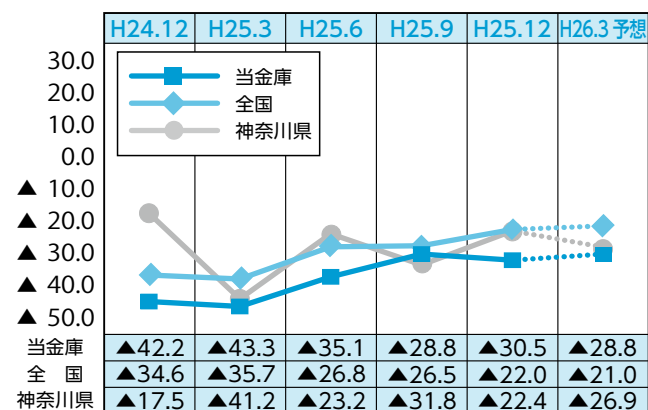
小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査から 1.7 ポイント悪化の▲30.5 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 15.3 ポイント改善の▲3.3、収益 D.I. は 13.6 ポイント改善の▲5.0 となっております。飲食業、飲食料品小売業を中心に年末需要や贈答品関連の消費の動きから、売上・収益 D.I. は改善となる一方、原材料価格の高止まりや最低賃金引き上げなどに伴う人件費の増加により、資金繰りは▲32.2 と 15.2 ポイント悪化したことから、業況改善には至らず、依然として経営環境は厳しい状況となっております。

なお、全国は 4.5 ポイント改善の▲22.0 となっており、神奈川県は 9.4 ポイント改善の▲22.4 となっております。

来期の予想業況判断は▲28.8 と 1.7 ポイントの改善が予想され、消費増税に向け、販売価格の見直しや商品・メニューの改善を検討する動きもみられます。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	23.7	34.0	42.3	D.I. ▲18.6
当期実績	32.2	32.3	35.5	▲3.3
来期予想	13.5	44.2	42.3	▲28.8
前年同期比	23.7	34.0	42.3	▲18.6

販売価格

前期実績	17.2	70.8	12.0	D.I. 5.2
当期実績	16.9	76.4	6.7	10.2
来期予想	20.3	73.0	6.7	13.6

在庫

前期実績	20.3	78.1	1.6	D.I. 18.7
当期実績	22.0	69.6	8.4	13.6
来期予想	15.2	79.8	5.0	10.2

人手

前期実績	-6.7	76.4	16.9	D.I. ▲10.2
当期実績	-8.7	61.5	29.8	▲21.1
来期予想	-3.5	66.2	30.3	▲26.8

収益

前期実績	16.9	47.6	35.5	D.I. ▲18.6
当期実績	28.8	37.4	33.8	▲5.0
来期予想	11.8	40.8	47.4	▲35.6
前年同期比	20.3	30.6	49.1	▲28.8

仕入価格

前期実績	44.8	53.5	1.7	D.I. 43.1
当期実績	38.9	57.8	3.3	35.6
来期予想	40.6	59.4		40.6

資金繰り

前期実績	-6.7	69.6	23.7	D.I. ▲17.0
当期実績	-6.7	54.4	38.9	▲32.2
来期予想	-10.1	47.6	42.3	▲32.2

設備状況

前期実績	-5.2	82.6	12.2	D.I. ▲7.0
当期実績	-7.0	79.0	14.0	▲7.0
来期予想	-5.5	79.7	14.8	▲9.3

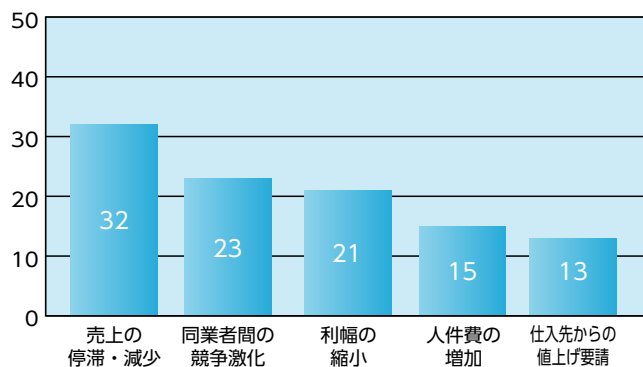
当期実績…25年10～12月期
来期予想…26年 1～3月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

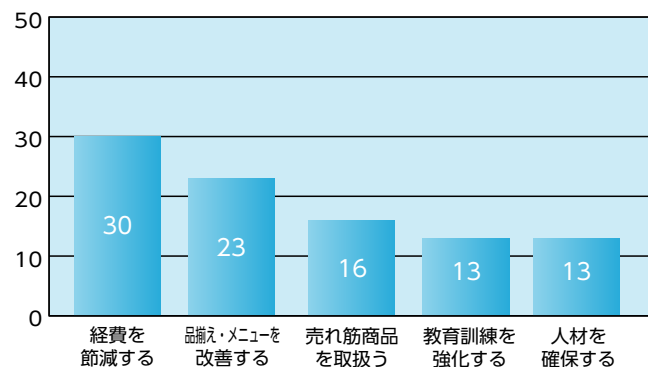
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



サービス業

概況

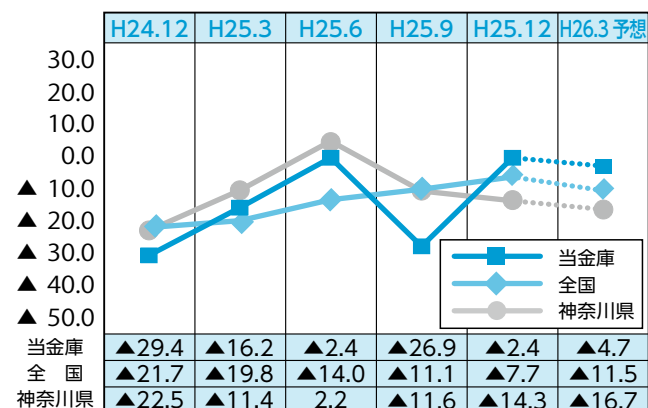
サービス業の業況判断 D.I. は前回調査比 24.5 ポイント改善の▲2.4 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 9.6 ポイント改善の 4.8、収益 D.I. は 29.2 ポイント改善の 4.8、資金繰りは 5.6 ポイント改善の▲28.5 となっております。秋の観光シーズンや年末需要による顧客数の増加から、売上・収益 D.I. は改善し、業況改善に至ったものの、同業者間の価格競争や消費者の低価格志向により価格転嫁が進まないことに加え、材料価格は 11.5 ポイント上昇の 31.0 と高止まりで推移しており、光熱費や燃料・原材料価格などのコスト負担感が増しております。また一部の企業では、ホームページや料金体系の見直しにより、顧客の集客を図る動きもみられます。

なお、全国は 3.4 ポイント改善の▲7.7 となっており、神奈川県は 2.7 ポイント悪化の▲14.3 となっております。

来期の予想業況判断は 2.3 ポイント悪化の▲4.7 と予想されております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	31.7	31.8	36.5	D.I. ▲4.8
当期実績	30.9	43.0	26.1	4.8
来期予想	23.8	50.1	26.1	▲2.3
前年同期比	45.2	16.8	38.0	7.2

料金価格

前期実績	-2.4	92.8	4.8	D.I. ▲2.4
当期実績	-4.7	83.4	11.9	▲7.2
来期予想	-7.1	81.0	11.9	▲4.8

資金繰り

前期実績	-7.3	51.3	41.4	D.I. ▲34.1
当期実績	-9.5	52.5	38.0	▲28.5
来期予想	11.9	52.4	35.7	▲23.8

設備状況

前期実績	-2.5	65.0	32.5	D.I. ▲30.0
当期実績	-2.3	78.7	19.0	▲16.7
来期予想	-2.4	75.7	21.9	▲19.5

収益

前期実績	17.0	41.6	41.4	D.I. ▲24.4
当期実績	30.9	43.0	26.1	4.8
来期予想	23.8	47.7	28.5	▲4.7
前年同期比	38.0	28.7	33.3	4.7

材料価格

前期実績	21.9	75.7	2.4	D.I. 19.5
当期実績	33.3	64.4	2.3	31.0
来期予想	26.1	71.6	2.3	23.8

人手

前期実績	-4.8	70.9	24.3	D.I. ▲19.5
当期実績	-4.7	66.8	28.5	▲23.8
来期予想	-7.1	66.8	26.1	▲19.0

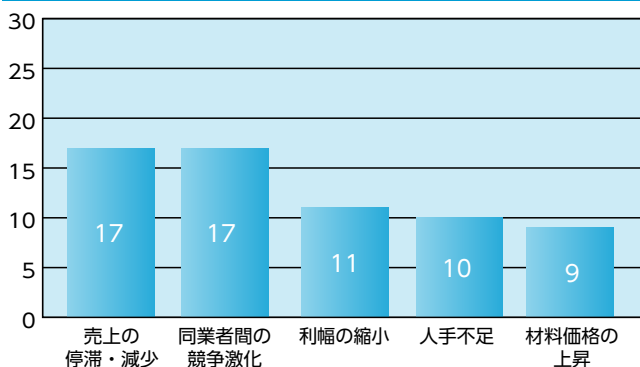
当期実績…25年10～12月期
来期予想…26年 1～3月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

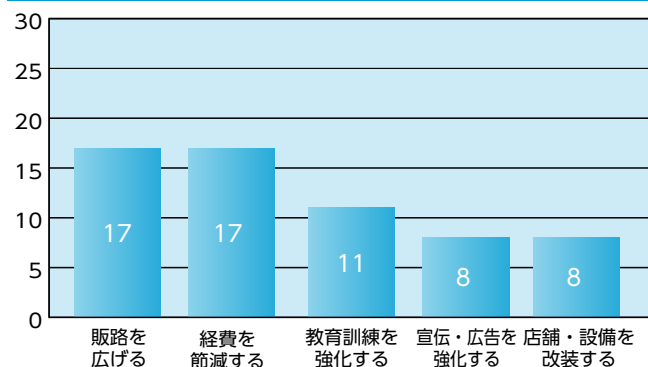
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点（複数回答）



当面の重点経営施策（複数回答）



建設業

概況

建設業の業況判断 D.I. は前回調査比 30.4 ポイント改善の 24.5 と大幅改善となりました。

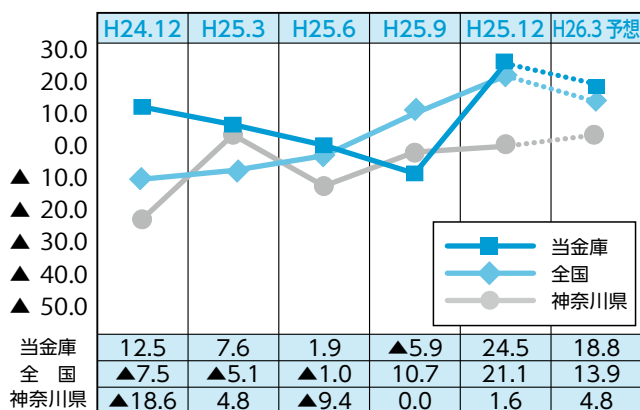
項目別では、売上額 D.I. は前回調査比から 30.2 ポイント改善の 32.1、収益 D.I. は 7.6 ポイント改善の 9.5、資金繰りは 6.0 ポイント改善の▲9.4 となっております。

消費増税前の駆け込み需要による住宅関連工事の増加や緊急経済対策による補正予算の執行が本格化したことから公共工事が増加し、業況は大幅改善となるものの、人材確保を課題とする声が多く、一部では、人手不足により受注を見送らざるを得ない状況も見受けられます。また、人件費や材料価格の高騰により、公共工事の最低入札価格上昇の動きもあることから、請負価格は 22.7 ポイント上昇の 18.9 となっております。

なお、全国は 10.4 ポイント改善の 21.1 となっており、神奈川県は 1.6 ポイント改善の 1.6 となっております。

来期の予想業況判断は、5.7 ポイント悪化の 18.8 と予想されております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	30.7	40.5	28.8	D.I. 1.9
当期実績	49.0	34.1	16.9	32.1
来期予想	37.7	41.6	20.7	17.0
前年同期比	47.1	32.2	20.7	26.4

請負価格

前期実績	9.6	77.0	13.4	D.I. ▲3.8
当期実績	28.3	62.3	9.4	18.9
来期予想	18.8	68.0	13.2	5.6

在庫

前期実績	3.8	90.5	5.7	D.I. ▲1.9
当期実績	3.7	88.8	7.5	▲3.8
来期予想		92.5	7.5	▲7.5

人手

前期実績	59.7	40.3		D.I. ▲40.3
当期実績	1.8	49.2	49.0	▲47.2
来期予想	54.8	45.2		▲45.2

収益

前期実績	26.9	48.1	25.0	D.I. 1.9
当期実績	28.3	52.9	18.8	9.5
来期予想	16.9	62.4	20.7	▲3.8
前年同期比	45.2	32.2	22.6	22.6

材料価格

前期実績	51.9	46.2	1.9	D.I. 50.0
当期実績	58.4	39.8	1.8	56.6
来期予想	52.8	43.5	3.7	49.1

資金繰り

前期実績	7.6	69.4	23.0	D.I. ▲15.4
当期実績	20.7	49.2	30.1	▲9.4
来期予想	11.3	56.7	32.0	▲20.7

設備状況

前期実績	3.9	94.2	1.9	D.I. 2.0
当期実績		90.6	9.4	▲9.4
来期予想		92.0	8.0	▲8.0

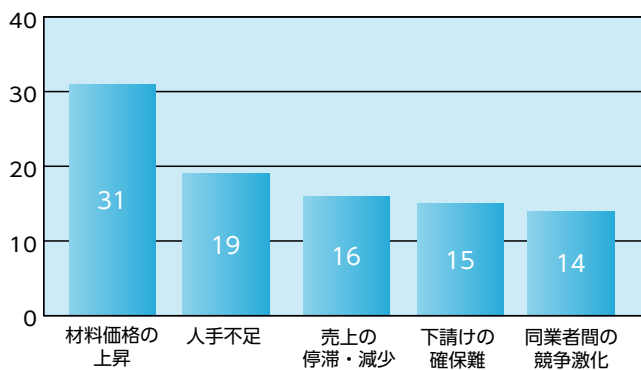
当期実績…25年10～12月期
来期予想…26年 1～3月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

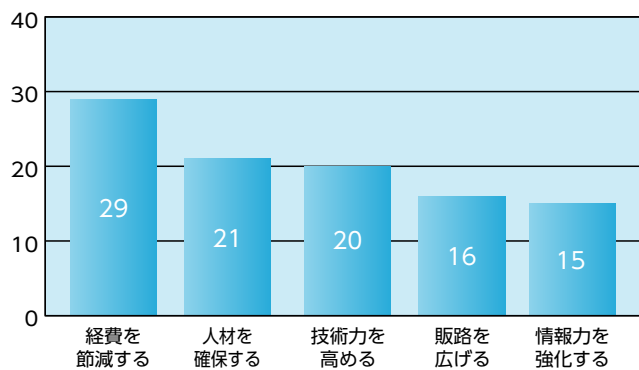
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



不動産業

概況

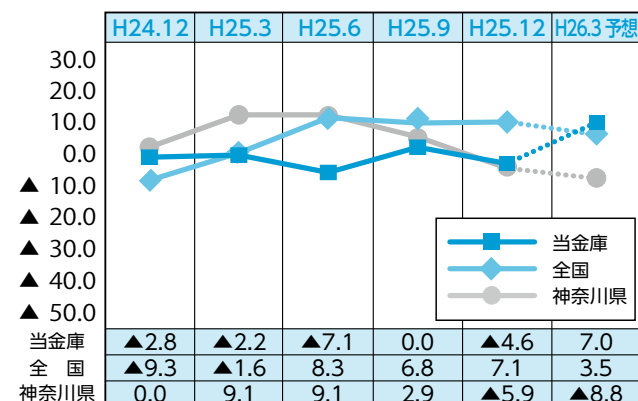
不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 4.6 ポイント悪化の▲4.6となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 18.6 ポイント悪化の▲16.3、収益 D.I. は 11.6 ポイント悪化の▲9.3、資金繰りは 4.8 ポイント悪化の▲2.4 となっております。消費増税前の駆け込み需要や東日本大震災の影響により敬遠されていた海岸近くの物件に動きが出始めた地域があるものの、半数の企業が商品物件の不足を経営上の問題点としていることに加え、増税後の影響を懸念する声が多く見受けられ、4 月以降の需要の動向に注視した商品物件の確保が課題となっております。

なお、全国はほぼ横這いの 7.1 となっており、神奈川県は 8.8 ポイント悪化の▲5.9 となっております。

来期の予想業況判断は、11.6 ポイント改善の 7.0 と予想されております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	30.2	41.9	27.9	D.I. 2.3
当期実績	20.9	41.9	37.2	▲16.3
来期予想	27.9	48.9	23.2	4.7
前年同期比	32.5	42.0	25.5	7.0

販売価格

前期実績	6.9	76.9	16.2	D.I. ▲9.3
当期実績	2.3	71.6	26.1	▲23.8
来期予想	2.3	73.9	23.8	▲21.5

在庫

前期実績	6.9	42.0	51.1	D.I. ▲44.2
当期実績	16.6	31.1	52.3	▲35.7
来期予想	14.2	28.7	57.1	▲42.9

人手

前期実績	81.4		18.6	D.I. ▲18.6
当期実績	2.3	66.8	30.9	▲28.6
来期予想	2.3	62.0	35.7	▲33.4

収益

前期実績	23.2	55.9	20.9	D.I. 2.3
当期実績	25.5	39.7	34.8	▲9.3
来期予想	30.2	51.2	18.6	11.6
前年同期比	30.2	46.6	23.2	7.0

仕入価格

前期実績	11.6	81.5	6.9	D.I. 4.7
当期実績	16.6	76.3	7.1	9.5
来期予想	26.1	69.2	4.7	21.4

資金繰り

前期実績	9.3	83.8	6.9	D.I. 2.4
当期実績	9.5	78.6	11.9	▲2.4
来期予想	9.7	78.2	12.1	▲2.4

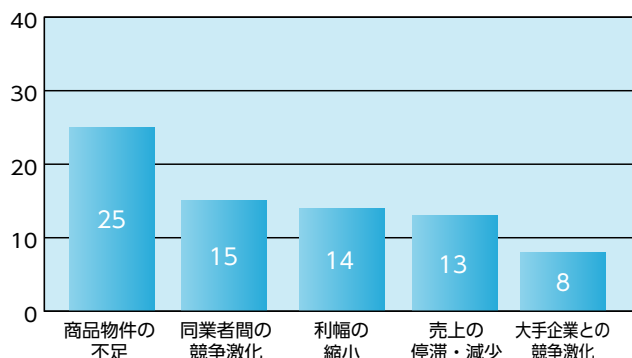
当期実績…25年10～12月期
来期予想…26年 1～ 3月期

良い、増加、上昇
過剰、楽

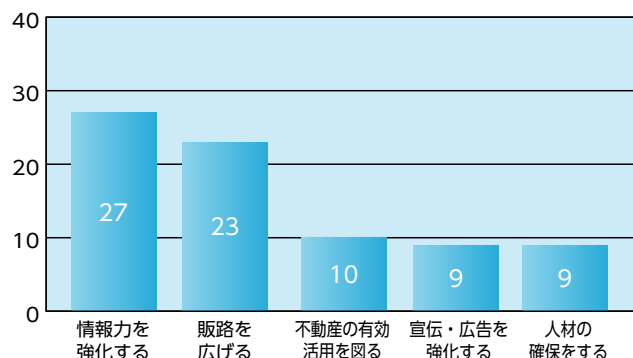
普通、変わらず
適正

悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点（複数回答）



当面の重点経営施策（複数回答）



問1. 貴社では、平成26年の日本景気をどのように見通していますか。

1位 普通	123社	5位 良い	10社
2位 やや悪い	80社	6位 非常に悪い	2社
3位 やや良い	63社	- 非常に良い	0社
4位 悪い	23社		

問2. 貴社では、平成26年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。

1位 普通	136社	5位 良い	13社
2位 やや悪い	80社	6位 非常に悪い	2社
3位 やや良い	50社	- 非常に良い	0社
4位 悪い	20社		

問3. 平成26年において貴社の売上額の伸び率は、平成25年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。

1位 変わらない	105社	6位 20～29%の増加	10社
2位 10%未満の増加	68社	7位 30%以上の増加	9社
3位 10%未満の減少	58社	8位 30%以上の減少	4社
4位 10～19%の増加	25社	9位 20～29%の減少	3社
5位 10～19%の減少	18社		

問4. 貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。

1位 業務改善の見通しは立たない	80社	5位 2年後	41社
2位 1年後	47社	6位 3年後	27社
3位 6か月以内	45社	7位 3年超	12社
4位 すでに上向いている	42社		

問5. 2020年の東京オリンピック開催決定によって、貴社の今後の業況にどのような影響や期待がありますか。

1位 今後の間接的な影響に期待している	77社	5位 今後の直接的な影響に期待している	21社
2位 あまり期待していない	72社	6位 すでに間接的な影響がある	5社
3位 どちらともいえない	67社	7位 すでに直接的な影響がある	4社
4位 全く期待していない	50社	7位 その他	4社

「第2回ビジネスマッチングwithかながわ8信金」を開催します!

中栄信用金庫を含む神奈川県内の8信用金庫では、神奈川県で活動される企業様を中心に、新たなビジネスパートナーを見つけていただくため、**製造、食品、物販関係の事業者を対象とした個別商談会**を開催します。なお、発注企業の募集受付期限は平成26年1月31日(金)、受注企業の募集受付期限は平成26年2月14日(金)となります。(募集予定企業数に達した場合、受付を締め切らせていただく可能性があります。)

○第1回商談会の様子



日 時	平成26年5月22日(木) 9:00～17:30
場 所	大さん橋ホール 横浜市中区海岸通1-1-4
募集対象企業	製造、食品、物販関係
募集予定規模	発注・バイヤー企業 80社 受注・サプライヤー企業 300社 展示企業(食品・物販関連) 30～50社
参 加 費	無料

詳しくは、当金庫ホームページまたはお近くの営業店までお問い合わせください。